

## 新川崎・創造のもりイノベーション拠点整備事業の整備・運営事業者の公募・選定結果 一優先交渉権者等を決定しましたー

本市では、令和 7 年 3 月に策定した「新川崎・創造のもりの機能更新に向けたイノベーション拠点整備基本計画」に基づき、新川崎・創造のもり（幸区）において、量子・AI・半導体・Beyond5G 等の最先端コンピューティング、DX 分野の「知」と「人材」の集積地の形成に向けた取組を推進しています。

民間事業者の創意工夫・アイディア・ノウハウ等を生かしたイノベーション拠点整備と運営管理を行うため、令和 7 年 9 月 3 日に公募型プロポーザル方式による事業実施者の募集を行ったところ、2 グループから応募・提案がありました。

これらのグループからの提案内容を、学識経験者等で構成する「経済労働局民間活用事業者選定評価委員会」において審査し、最優秀提案者等の選定を行いました。この審査結果等を踏まえ、このたび、優先交渉権者等を決定しました。

なお、審査講評は、ホームページで後日公表します。

### 1 事業名称

新川崎・創造のもり イノベーション拠点整備事業

### 2 事業の概要

所在地：川崎市幸区新川崎 7 番 1 号

事業内容：統括マネジメント業務、施設整備業務、維持管理業務、運営業務

### 3 優先交渉権者

代表企業：三菱地所株式会社

構成員：東急不動産株式会社、プライムライフテクノロジーズ株式会社

### 4 優先交渉権者の総合評価点（満点：1,000 点）

779.57 点

### 5 優先交渉権者の提案事業期間

設 計：令和 8 ~ 9 年度

建設工事：令和 9 ~ 11 年度中

開業予定：令和 11 年度

事業期間：定期借地権設定契約を締結してから 70 年間

### 6 次点交渉権者

代表企業：大和ハウス工業株式会社 東京本店

構成員：ヒューリック株式会社

総合評価点：699.57 点

### 7 事業者提案の概要

別紙のとおり

#### 【問合せ先】

川崎市経済労働局イノベーション推進部 藤本  
電話 044-200-3895

## 提案概要

川崎と世界をつなぐ量子の未来を牽引する街づくり  
～PoCで終わらせない「未来」が動き出す街へ～

# (仮称) Quantum Business Incubation Center (QBIC)

量子・AI・半導体等の最先端コンピューティング、DX分野の『知』と『人材』の集積地の形成を目的に、研究開発・実証・社会実装を一体的に推進する拠点

## イノベーション・エコシステムの成長エンジンとなる 「都市型PoC/社会実装拠点: QBIC」

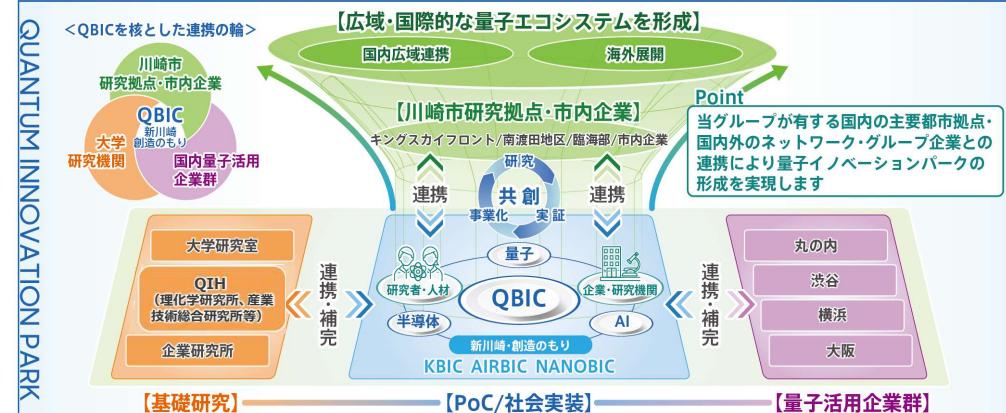
当グループは、社会実装に最も近いフェーズでの実証・共創を担う都市型PoC/社会実装拠点：QBIC(仮称)を設立し、国の研究機関や企業の取組と補完し合う連携体制を構築します。

ハード面での研究環境を整備すると共に、量子等に関連する企業・人材を誘致し、市内外の研究機関・企業との連携と共創を推進します。さらにPoCから事業化までを実現するための人材育成や支援体制を体系的に整備し、継続的にイノベーションが生まれる環境を育みます。

## 新川崎・創造のもりを起点とした活動を拡大し 広域・国際的な量子エコシステムへ

QBICを核とし、市内の研究開発拠点や市内企業と連携し研究・実証・教育プロジェクトが相互に影響し合う量子イノベーションパークの基盤を形成します。QBICを、「基礎研究」と「量子活用企業群」を結ぶ“中間拠点”として位置づけ、研究成果をPoCから社会実装へと確実に橋渡します。

これらの取組みにより、新川崎・創造のもりを起点とする活動を市内全域へ広げ、国際的に展開する量子エコシステムへと段階的に発展させます。



## 提案概要

- ① 日射負荷の抑制と景観形成に配慮した外装スクリーン
- ② 三重スリット実験の「スリット」をモチーフにした外装のデザイン
- ③ 視認性が高く、街に対して開かれたメインエントランス

① ②



敷地面積 16,407.60m<sup>2</sup>

延床面積 49,999.00m<sup>2</sup>



1F エントランスホールイメージ



1F コワーキングスペースイメージ



さいわいふるさと公園」と連続性を持たせたランドスケープイメージ



広場イメージ

### 本施設の運営方針

市内拠点・企業を  
結ぶ量子共創基盤  
の整備

市内の研究開発機関・企業・スタートアップを常時接続する量子コミュニティを形成し、連携テーマや共同PoCを生み出す仕組みを整備する

PoC・事業創出と産業基盤形成の推進

・PoC・事業創出を促す環境と支援体制を整備、人材育成と企業連携を進める  
・半導体・HPCを担う市内企業と協働し、量子実装を支える産業基盤を形成する

広域・国際エコシステム形成に向けた連携体制の強化

当グループのネットワークを活用し、量子活用都市圏との接続を強化し、国的に広がる量子イノベーションパークの形成を進める

## 市民や子どもたちの学びへの関心を誘発し、研究・開発との接点を創る 「開かれた」交流・共創の場を形成

・施設1階は、施設利用者の利便性を高めるべく、**コワーキングスペースやカフェラウンジ・ジム等の商業機能**を配置し、エントランスホールから直接アクセス可能にします。

・エントランスホールと広場をシームレスに配置することで、建物内外を一体的に活用したイベントが可能とし、地域住民の方々・学生の方々の参加を誘発します。

・エントランスホール西側出入口前に広場を計画。隣接する「さいわいふるさと公園」との連続性を持たせたランドスケープにより、公園を訪れる方々も気軽に立ち寄れる**交流空間として機能**します。

・エントランスホールや市入居部分のコワーキングスペースに、**研究成果・技術シーズ・スタートアップの試作品等を紹介する展示PRスペース**を設け、来訪者が最新の技術動向を把握できる環境を整えます。

